

2024年2月13日

日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

1. 概観

愛媛県の景気は、持ち直している。

すなわち、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、高水準で推移している。こうした中、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

2. 各論

(1) 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

輸出は、一部に弱い動きがみられる。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。

業態・品目別の需要動向

大型小売店販売 (百貨店、スーパー、ドラッグストア等)	持ち直している。
コンビニエンスストア販売	増勢が鈍化している。
家電販売	弱めの動きとなっている。
乗用車販売	持ち直している。
宿泊・観光施設の入込み	回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

(2) 生産

生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

業種別の生産動向

織	維	弱含んでいる。
紙	・ パルプ	減少している。
化	学	弱い動きとなっている。
プラスチック製品		低調に推移している。
非鉄金属		堅調に推移している。
食料品		一部に弱い動きがみられる。
はん用・生産用機械		高水準となっている。
電気機械		低調に推移している。
輸送機械（造船）		持ち直しの動きがみられる。

(3) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、緩やかに持ち直している。

(4) 物価

松山市の消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

(5) 企業倒産

企業倒産は、前年を上回って推移している。

(6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。

以 上